

# 考・努・感

## ☆人間性を磨く☆

準備や片付けをする場面で、あなたはどのようにしていますか？

自分の役割・仕事に責任をもって取り組んでいますか？

最近、みんなの様子を見ていて強く感じる事です。例えば、給食当番や掃除を考えてみてください。あなた一人がやらなくても、きっと準備はできるだろうし、掃除も進んでいくでしょう。しかし、あなたがやらなくてはいけない役割・仕事を誰かが代わりにやってくれていることに気づいていますか？今、体育の時間で行っている跳び箱やテニスの準備・片付けの場面を思い出してみてください。誰かが跳び箱の準備をしなくては、授業を開始することはできません。同様に、誰かが後片付けをしたり、コートを整備したりしなければ授業を終えることはできませんし、次に使う人の邪魔になったり、気持ちよく使えなかつたりしてしまいます。

「誰かがやってくれるから・・・」「自分一人やらなくても・・・」  
と思うか、

「自分が率先してやろう!」「みんなのためにもきちんとやろう!」  
と考え、行動に移すかどうかは、その人の人間性にかかってきます。人間性が試される場面は、日々の生活の中でたくさんあります。日々の当たり前のことに対して責任をもって取り組むことで、人間性を磨いていきましょう。



### 今年一年を振り返る!

#### ～♪今年の漢字『金』♪～

その年の世相を漢字一文字で表す『今年の漢字』が先日発表され、今年は『金』になりました。リオ五輪での金メダルラッシュや、政治とお金の問題、イチロー選手の通算3000本安打達成などの金字塔、PPAPの金色の衣装などが理由に挙げられたそうです。これは、日本漢字能力検定協会がはがきやウェブサイトを通じて公募し、決定するものです。ちなみに昨年度は『安』、一昨年度は『税』だったそうです。

あなたにとって今年一年はどんな年でしたか?来年はどんな一年にしたいですか?一度ゆっくり考えてみましょう。

### (来週の予定)

21日(水) 学年集会  
(4時間目)  
給食最終  
22日(木) 終業式



### 【自分自身で体調管理を!】

○うがい・手洗い ○マスクの着用 ○人混みを避ける

◎規則正しい生活リズムで過ごす

『インフルエンザ』『胃腸カゼ』『ノロウイルス』といった言葉が、新聞やニュースなどで多く取り上げられるようになってきました。それらに加え、今年は『鳥インフルエンザ』も話題となっています。全てを完璧に予防することは不可能ですが、上に挙げたように自分自身でできることはたくさんあります。『自分の体は自分で守る』元気に年末年始を過ごしましょう。



# 自分を『変える』→『変わろうとする』

何か新しいことに取り組んだり、自分自身を変えようとしたりすることは、とてもエネルギーのいることです。しかし様々な経験をする中で、今の自分に足りない部分があることに気づいたり、今よりも自分自身を高めていきたいと思ったりする場面に遭遇する時があるでしょう。そんなときは、ぜひ『変わろうとする気持ち』を大切にしていきたいと思います。きっとその気持ちは間違っていないし、これから生きていく中で大切なことだと思います。

## 「ありがとう」伝えたい

宇野 董 大学生

(岐阜県多治見市) 18歳

大学で、ボランティアサークルに入りました。サークルの目標を決めた時、「誰かに十与えられたら、自分も十で返す」という言葉が挙がりました。

何かを十してもらったら、自分も十何かをしてあげるという大意です。何かを返すというより、「ありがとう」と「お礼を言わないこと」が大切なんじゃないかなと思います。

この言葉から、自分を省みてみました。お礼を言

んと伝えられているか、誰かが発信したものに自分はちゃんと応えられているか

。。。できていないところがたくさんありました。

もし、何かをしてくれた人がいて、相手から何も返ってこないと悲しくなるでしょう。もうやめようと思

うかもしれない。だから、ちゃんと十返せる人になりたいです。何かをしてもらうことは当たり前ではないと気づき、その人にちゃんと「ありがとう」を伝えていくことを大切にしていきたいと思っています。

11月18日(中日新聞)

## できない症とお別れだ

丸山 颯祐 高校生

(津市) 18歳

近年、若者の間である病が流行している。

幼い子供から小学生までがよく口にして言っている言葉だ。私は、その病を「できない症」と呼んでいる。幼いころから「できない」と言い続け、その言葉が大きくなっても抜けず、発言者とその言葉の影響を受けて、何もできないと思わせてしまう病だ。日常生活のいたる所でよく見られる。

何か頼み事をして、携帯をいじりながら「できない」と言っ。学校の授業や

休み時間でも、「できるわけない」と何もしようとはせず、すぐに何でも諦めてしまう。私の友人もその一人で、やればできることでも「できない」と言い、諦めてしまう。それを見聞きする私にも、そんな病が伝染しつつあるのが分かり、「できない」と言っ自分にハッとして、危機を覚えるときもある。

まずはこんな病に負けず、何でも勇気を持ってやるべきだと思っ。少しずつでも前に進めば、何でもできるのだから。そう自らにも言い聞かせている。

12月2日(中日新聞)